

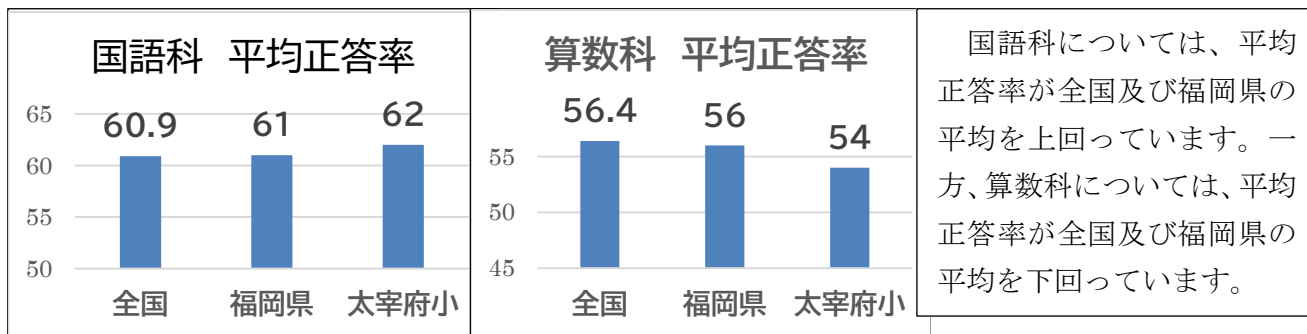
まほろば【校長室だより】

[文責]

校長 江口 尋信

全国学力・学習状況調査の結果について

6年生を対象に、4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が届きました。この調査は、わたしたち学校・教師の指導を検証し改善を図るために実施されるものです。結果をご報告します。



平均正答率は、学校の学力向上の取組を評価する一つの指標ではありますが、個別の正答状況や正答率が低かった問題、昨年度の福岡県学力調査の結果との比較等、結果を細かく分析していかなければ、指導の改善にはつながりません。引き続き、届いた結果を有効に活用し、学校全体で学力の向上を図っていきます。併せて行われた児童への質問調査の結果は以下のとおりです。

【全国や福岡県平均と比較してよい傾向が見られた主な項目】

- 毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きている。
- 自分には、よいところがある。
- 将来の夢や目標をもっている。
- 学校へ行くのは楽しいと思う。
- 1日当たり読書をする時間。
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれる。
- 人が困っていたら、進んで助けている。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。

注目したいことは、「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「学校へ行くのは楽しい」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」という項目が高いことです。いずれの項目も子どもの活力や意欲につながる重要な項目です。

【全国や福岡県平均と比較して課題であった主な項目】

- 1日当たり、スマートフォンや携帯電話、ゲーム機等でSNSや動画視聴などをしている時間。
- 平日や休日に家庭で勉強する時間。
- 学校の勉強や学校での悩みについて親や家族と話をする回数。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

課題は、生活習慣（SNSや動画視聴の時間が長い、家庭で勉強する時間が短いこと）です。SNSや動画視聴に費やす時間が長くなると、どうしても勉強する時間は短くなります。1日の起きている時間は決まっています。そこで、SNSや動画視聴の時間をどう短くするかがポイントになります。また、困りごとや悩みを親や家族、教職員に話すことができない子どもたちが多いという実態も見えてきました。大人から話しかけ、子どもたちが話すきっかけをつくるのが大切ではないかと思います。